大正九年十二月十四日第三種郵便物認可（日刊）

昭和八年九月二十八日　新京日日新聞　（木曜日）　第三千八百五十八號　（一）

新京日日新聞　夕刊　九月廿七日（水）

歐洲諸國との修交確保に ソ聯が大拍車
カラハンの外國行きも其の現れ

〔ハルビン廿六日發國通〕モスクワ來電に依れば對極東問題で意見を異にした結果外務次官の椅子を退いた極東通を以て有名なカラハン氏は、廿四日モスクワ發ペルシャに向つた、陸海赤軍次官トハエフスキー氏も曩にソ聯を訪問したフランス航空大臣の招きに依り近くフランスを訪問する事となつたが、右はソ聯が歐洲諸國との友好關係の確保に一層の拍車をかけだした證左で、米國のソ聯承認近しとの說流布されゐる折柄ソ聯が如何なる外交政策を以て今後世界殊に極東に臨むかソ聯の態度は可成視聽を集めてゐる

張海鵬將軍 快方に向ふ

熱河省長兼侍從武官長張海鵬上將は九月初旬より腎臟炎の爲め三道街の辦事處内で療養中であつたが最近漸く快方に向つたので、來月五日秘書官格氏、警備司令部外交處長李春洲氏を帶同し承德に向け出發することとなつた、尚一行は奉天に一、二泊の上錦州より飛行機で承德に向ふ筈である

印度との暫定協定 成立望み薄

〔シムラ廿六日發國通〕シムラ會商に對する日本側の政策は先づ暫定協定によつて十月十日以後印度と無條約關係となる憂をなくし然る後新條約締結の折衝を行はんとするにあるが此暫定協定の締結は印度に外交權が與へられて居ない爲に諸種の困難を伴ふものである、印度には從前より外交自主を要求する幹が相當に強く此機會に完全なる外交權を獲得せんと劃策するものあつて之を抑壓すべく印度政廳は會議内容の發表を極度に嫌つて居るのは事實で更に印度側は棉花商と紡績業者間に於ける利害も一致せず又ランカシャと印度紡績業者との利害も相反して居り印度側の輿論は不統一を極めて居り印度側は可成内部的に弱點がある

桓勾子驛 鐵道愛護發會式

〔四平街支局發〕二十九日午後一時三十分から、滿鐵線桓勾子驛では關係官民村長等參集鐵道愛護村發會式を擧げる尚ほ二十七日午前十一時からは昌圖驛でも關係官民によつて同樣鐵道愛護村發會式を擧行する由

海相閣議で 軍令部條令改正を報告

〔東京廿六日發〕定例閣議は午前十時半總理官邸に開かれ首相以下各閣僚出席、大角海相は軍令部條令改正案を廿七日公布の豫定であるが要點左の通りであると說明した

一、海軍々令部を軍令部とする
一、軍令部内の班長の名稱を部長と改正
一、海軍大臣と軍令部長との權限を變更し、平時も用兵權は滿洲上海兩事變に鑑み參謀本部の如く軍令部に附與する
一、豫算（兵力量等）及び外交の如きは閣議の承認を經ることは從來通りとす

右報告終り正午散會した

四洮線の特産出廻 ペストで氣遣はる

〔四平街支局發〕通遼開通等奥地發生のペスト流行の爲め四洮鐵路局では防疫上鄭家屯通遼間の門達、大林、錢家店歐星の各驛鄭家屯洮南間にて鴻興、双崗、黑水の三驛に對して旅客並に貨物の取扱を中止中で特産出廻期を眼前にして其の影響を危惧するものがある、通遼方面は毎年十月中間（仲秋節前後）後から出廻方として影響認められず漸次奥地へ蔓延するとせば出廻杜絶となる可く殊に地理的關係から從來遼河結氷期たる十一月上旬迄には其の大部分が通遼市中に集積され更らに打通線によつて營口河北に集貨されるものが多いがペストの情勢によつて出廻遲延の場合は同滿鐵線による一途なる可く洮南地方の菱姿は十月上旬大豆は十月中旬からの出廻りをみせるであらうが流行情況によつて多少の遲延を來すは免れぬ處であるが影響としては大したものではあるまいと

藏相閣議で 人心安定策の必要を强調

〔東京二十六日發〕五、一五事件など人心不安の現狀に鑑み定例閣議に於て高橋藏相より人心安定策を講ずべしとの發言あり、齋藤首相以下各閣僚同感の意を表し、荒木大角兩相は小山法相、山本内相に諸管内の情況を質問し、人心安定善後策の樹立を必要と意見一致した廿六日の閣議に於ては具體案の提出は無かつたが今後各閣僚研究の筈である

野砲○隊 内地へ凱旋

〔大連廿六日發〕熱河聖戰の武勳に輝く第二次凱旋部隊城島大佐指揮の野砲○隊主力及び鐵岸○隊の一部は廿六日午後四時九番バース繫留の春晴丸に乘船、小川市長の祝辭に次いで城島大佐の答辭あり埠頭を埋める大連市民の萬歲聲裡に午後五時出帆、一路懷かしの母國に向け凱旋の途についた

昌圖縣下 警備産業道路 竣工

〔四平街支局〕去る七月二十八日起工以來工を急いで居た昌圖縣下警備産業道路の双廟子下二台間二里五町二十方間双廟子　驚樹間一里二十四町十四間が去月二十八日完成を告げたので二十五日午前八時から滿鐵線双廟子驛北踏切側の廣場に特設の式場にて中山守備隊長、田中四平街憲兵分遣隊長、烏越四平街警察署長櫻井双廟子驛長昌圖驛長代理其他同縣關係區自警團警務局員小學校生徒一般住民多數參列盛大なる祝賀式を擧げ、式後午前九時トラツク二台、サイドカー一台に參列者分乘昌圖縣第五區自警團騎馬隊參加驚樹及下二台へ祝賀行進を敢行して氣勢をあげ双廟子附屬地にては隣接地小學生等出場市中旗行列を行ひ午後一時からは驛貨物倉庫を會場として官民有志の祝賀宴を催す等彌やが上に祝賀氣分横溢した

吉林省内の 教育着々整備さる

〔吉林廿六日發〕吉林省に於ける舊教育當事者は吉林を排日教育の根源として各地に排日的教育を實施し一般國民に對して執拗なる害毒を流してゐたが、事變勃發以來滿洲國の成立成るや殆んど逃走し各公私立學校はこれが爲俄に教育の缺如を來し一時閉鎖の已むなきに至つたが、その後滿洲國文教部、吉林省公署教育廳の努力に依り漸次省内各縣の教育復興を見つゝあり、未だ開校し能はざるものは虎林撫寧、九臺の三縣でその恢復狀況は左表の如くであるが、たまたま過般吉林中等學校共產黨事件にまつはる教育關係者數名を出した醜態を演じ今回文教部、省教育廳當局に於ては省内教育を各方面より一大刷新を行ふべくその一つとして右の如き不良分子防止のため從來教育廳の任命に依る中學校以上の教員の採用については今後必らず保證人を必要とし直接省長の任命とすべく草案近く申請の運びとなる筈である

△中等學校

	事變前	現在
學校數	四	三
教員數	五三	四三
學生數	一、三八九	六一一

△初等學校

	事變前	現在
學校數	一一六	一二一
教員數	一八六	五七
學生數	四、五九三	二、〇〇四

珠玉を碎く
吉井勇
（高根秀浩畫）

（百二十六）

潮光る（十）

「もういゝよ。もう大丈夫だ」

咳の出るのが少し鎭まると、莊太は純子の手を留めるやうにさういつたが、しかしまだ息苦しさうに喘いでゐた。その顏は興奮のために少し赤くなつて、額の邊りには薄く汗さへ入染んでゐた。

純子は憐ましげに喘いでゐる兄の顏を、傷ましさうに眺めながら、

「ほんとにお苦しさうだわねえ。さあ、もう一度お眠みになつたらいゝでせう」

と優しく慰めるやうにいつたが、莊太は頑なに首を振つて、ぢつと唇を嚙んだまゝ寢床の上に坐つてゐた。が、暫らくすると歎息れたやうな聲で、

「ねえ、純子。お前にはおれがどうしてこんなに反抗的な心持になつたかといふことはよく解つてゐるだらう」

といつて訊いた。さうすると純子は憐憫するやうに目を潤ませながら點頭いて、

「えゝ、あたしにはよをく解つてゐますわ。しかしね、兄さん。今あなたは御病氣なんだから、あんまりいろんなことをお考へにならない方がいゝわ。ねえ、あんまりそんなことをお考へになるとお體に障るわ」

「うん……。しかしおれはかうやつて寢てゐると、かへつて一層いろ／＼の事が考へられるんだよ」

「そりやあさうでせうけれど、そんなことを考へて、體を惡くなすつたり何かしてはつまらないぢやありませんか」

さういふ妹の優しい言葉を聞くと、莊太は急に胸が一杯になつたやうに、涙含んだ聲音になつて、

「さうだねえ。おれの體が惡くなると、心配を懸けるのはお前ばかりだからなあ。兎に角折角かうして滿地撫寧に來てゐるんだから、これからはお前のいふ通りなるべくそんなことは考へないやうにしやうよ」

「えゝ、さうなさいね。あなたがいくらやきもきなすつたつて、お體が惡いうちは何にも出來ません」

「さうだよ。全くお前のいふ通りだ、これでは何か運動に加はらうと思つてゐても駄目だからねえ」

莊太はさういつてから、强て自ら勵ますやうに無理に元氣を附けたやうな聲で、

「よをし……おれはきつと二三ケ月のうちには元通り丈夫な體になつて見せるぞ。なあに大丈夫だよ、きつと元通りの體になつて正義のために戰つて見せるよ」

といつて快活らしく笑つたが、それはむしろ寂しい笑ひだつた。

莊太が寢床の上に横になると、純子は立ち上がつて雨戸を一枚そつと繰つた、その時何の氣なしに海岸の方に瞳を遣つたがそこには船の姿も見られなかつた、暗い海原にきら／＼と金色に輝いてゐる燈臺の灯があるばかりだつた。

純子は雨戸を繰つて、丁度莊太の寢てゐる邊りが少し薄暗くなるやうにして置いてから、暫らくたつて眩しいやうな海の光を眺めてゐたが、そのうちだん／＼目頭のところが灼けるやうに熱くなつて來るのを感じた。が、涙はこぼれなかつた。

莊太は横になると瞑らうとしてぢつと靜かに目を瞑つたが、しかしさうするとかへつて彼の頭の中では、さま／＼の幻想が湧きかへるやうに起つて來た。英一や大貫のことがある敵意を以て考へられた。あゝして海岸を散歩してゐる二人の姿も、わざ／＼自分を侮辱しに來たものとしか思はれなかつた。冷たく嶮しい監獄の塀が見えたり、雨のやうに降る宣傳ビラが見えたりした。

莊太は呻くやうな聲を立てながら寢返りを打つた。

戰雲漲る北支の情勢

抗日を阻止せる國賊蔣を討伐せん

方振武の長文に亘る通電

〔奉天廿六日發國通〕去る廿四日方振武は約二千字に亘る通電を發表したが其內容は逆賊蔣介石を無賴の徒となし極度に中央の政治を批難すると共に蔣が抗日運動を阻止した罪を掲げ、日支停戰協定を以て國辱なりと斷言し自ら方振武軍は抗日の第一線部隊なりと誇り、抗日を爲さんが爲には先づ蔣を打倒する必要あり、今回の擧兵は全く個人的行動でなくして國家の爲に敢へて行ふものであると豪語してゐる

方振武軍中央軍と高麗營附近で前哨線

〔北平二十六日發〕支那紙に依れば牛欄山に移駐した方振武軍は今曉零時二隊に分れ牛欄山を出動一隊は東進し三河方面へ一隊は南下し高麗營に向ひ依然移動を續けて居るが今曉四時高麗營附近で中央軍との間に小規模の前哨戰あり、今曉北平より順義に向つた乘合自動車は遭行の危險を感じ北苑より北平に引返した

舊東北軍を以て雜軍を制する

蟲の良い中央の計畫

之が北支擾亂の因をなした

〔東京二十六日發〕廿六日の東京朝日は「北支擾亂の脅威」と題し左の如く論じてゐる

方振武、吉鴻昌等の雜軍の結束により北平乘取りの脅威が恰も降つて湧いた樣に狂奔する勢を示してゐるのは何故であらうか？舊東北軍を平津地方から追拂ひ舊東北軍をして方振武、吉鴻昌等の漂泊地域をそれとなく整理掃蕩せしめんとした

獨り東北軍のみの移駐が傳へられたのは之を以て雜軍

爲めではなからうか、彼等の自己保存が期せずして北平乘取に衝突させてゐるのではないか、果してさうだとすれば北支昨今の不安を作つた責任は南京政府に在るのであり北支の不安を除くためには責任を以て南京政府の手で停戰協定成立後何を措いても雜軍の整理が根本的に講ぜられなければならなかつたのだ、然るに

を制せしめ南京政府が一擧兩得の利益を收めんとする虫の良い魂膽を持つて居たに相違ない

北支軍憲の荒唐無稽の惡宣傳に

我軍から嚴重警告

〔北平廿五日發〕北平軍憲は最近次の如き宣傳をなし、即ち

日滿兩國は黄河以北の占領を企圖して劃策中であるが吉鴻昌、方振武、湯玉麟等の軍隊を使嗾し且つ匪賊團を糾合し以つてこれを進出せしめ侵略の第一歩を踏んで居る云々

故意に民心を惡化せんと努めてゐるので關東軍は皇軍を侮辱するも甚だしきものとなしこれ等の流言蜚語を取締るにあらざれば時局益々惡化すべき旨今朝十時北平武官を通じ何應欽に通告する所あつた、

何應欽は右の警告を諒承せるも在北平日本官憲は嚴重監視することとなつた

方軍撤退せずば二十七日早朝爆擊

〔北平二十六日發國通〕方振武軍の撤退期限は二十六日夜期限滿了したが我軍飛行機は方軍の行動如何では二十七日早朝爆擊開始の筈、尙二十六日正午敵狀を偵察せる愛國女學生號外飛行機は北平上空に飛來、我兵營に通信筒を投下『我軍は停戰協定を嚴守、日支の紛爭を再び惹起せしのざるやう努むるものなる』旨の宣傳ビラを投下した

高麗營以北一帶に於て

方軍支那軍と火蓋を切る

〔北平廿七日發〕本朝の大公報に依れば昨日午後六時頃高麗營以北一帶に於て支那側軍と方振武軍と交戰の火蓋を切つた、吉鴻昌は現在懷柔以西にあり日本軍の壓迫に依り西南に逃走するものと見られる

我警告を聽かず

反蔣軍行動せば斷乎膺懲

〔東京二十六日發國通〕支那軍不侵入區域に侵入した反蔣軍への日本側の最後通牒は廿六日中に期限切れるが正午までには陸軍中央部に回答なく、關東軍では萬一に備へ○部隊を昨夕までに○○に集結させるやう命令を發して反蔣軍の出樣如何では斷乎たる措置を執る筈だが、同時に支那中央軍も停戰協定に違反行爲あれば許さぬ方針だ、我軍中央部は懷柔侵入の方振武軍は約六千で中二千は小銃を持ち其他は拳銃か大刀に過ぎぬ見て居り吉鴻昌軍は二十五日懷柔に到着したが兵の大部分は未着で實力なく關東軍が斷乎處置を執れば直ちに雲散霧消するものと觀測してゐる

德川カナダ公使

着京

滿洲視察の爲め渡滿のカナダ公使德川家正氏は二十六日午後七時五十分大使館關係者多數の出迎へを受けて着京直ちにヤマトホテルに投宿したがハルピンその他各地を視察の後歸任の筈

方振武老耗子匪合流し

支那軍不侵入區域に蟠居か

〔北平廿六日發國通〕日本軍飛行機の偵察によれば懷柔城內には方振武軍の影を認めず順義方面に移動せるものの如し、關東軍は曩に發したる通告に依り廿六日中に完全なる撤退を見ざるときは今朝を期しこれに爆擊を加ふべき旨第○○團に命令した、尙本日中○○部隊は○○に集中を完了する筈であるが方振武軍は西南下を阻止せられたるを以て老耗子一味と合流を策し支那軍不侵入區域に蟠居する模樣である

我が飛行機

機上より傳單撒布

方軍即時撤退要求

〔北平廿六日發〕昨日午後零時三十分我軍偵察機四機南方より飛來し北平城上空を通過傳單を撒布して北方に飛去つた、其內容は左の如くである

中國軍當局官憲に告ぐ！

最近方振武及び中國人間に

停戰協定を無視し大軍を支那軍不侵入區域に侵入せしめ地方民衆をして敢て塗炭の苦痛を與へんとするものあり、然しながら大日本軍司令官は中國人相互の係爭に對しては絕對干涉せずあくまで公明正大なる態度を持し停戰協定の精神を遵奉し、こゝに武裝中國軍の支那軍不侵入區域撤退を要求するものである、而して彼等が飽く迄反省するところなき時は斷乎膺懲する決意を有する、元より方軍の反國民政府の事實明瞭にして中國軍及方軍討伐の意あるを確信するものであるが該地域は停線協定により武裝中國軍隊の侵入を許さざる地なるに鑑み茲に彼等の同地域外撤退を要求するもので毫末の他意なきことを茲に聲明す

然れども不幸已むなく方軍と干戈を交へたために受くる民衆の痛苦を思ふ時本司令官は斷腸の思ひあり、願はくば地方官憲民衆一致團結し方軍を支那軍不侵入地域以南の地へ撤退せしむれば幸甚なり

大日本軍司令官

何應欽順義方面に

正規軍を出動

〔天津二十六日發〕何應欽は北支事態の急變を憂慮し二十五日于學忠の五十一軍、中央軍二ケ師に順義方面出動を命じた

方振武及び吉鴻昌軍は馮玉祥の下野以來立場に窮し張家口の西北察哈爾省一帶にかけて彷徨してゐたが、熱河省より逃げた湯玉麟劉桂堂等の雜軍と合し東亞共和軍と自稱して表面蔣介石へ反對を唱へてゐたが、本月廿日頃突如懷柔方面に現はれ更に南下せんとする勢を示してゐる、右は先に改編に不滿を懷いていた舊東北軍とも連絡ありと云はれるも確證なし、何應欽は之を討伐の方針で中央側各部隊に對し嚴重防禦方を命じた趣だが、日本軍は飽く迄停戰協定を維持する方針で停戰區域內には支那雜軍の侵入を許さぬ方針である

方吉兩軍孤立

北支懷柔より順義に撤退した方振武軍に對し何應欽軍は漸次南下し順義西南孫家鎭に於て築陣中にて今後兩軍の對峙は北支の政局に如何なる事態を惹起するかその動向を監視中である、一方飛行機よりの偵察情報によれば方軍は板橋村を通過して協定線外に移動し吉鴻昌軍は九渡河より南方五里の地點を西南に向け移動中にて、これに反し赤城附近の湯、劉兩軍は未だ移動した形跡なく方、吉兩軍は今や全く孤立無援に陷つてゐる

印度綿布は

日本人絹に壓迫される

廿五日英印協議會で意見一致

〔シムラ廿六日發〕ボムベイよりの情報に依れば廿五日の英印協議會で日本人絹が重要議題となつた、即ち日本人絹の輸入は最近非常に增加し綿製品に取つて代る形勢を示し印度の家內工業たる綿布業に重大打擊を與へんとしつゝある、故に今の中に適當なる對策を講ずべしとの意見一致を見たといふ

この日本人絹の進出は印度に取つてのみならず英國側では綿製品と共にシムラ會商の議題にしやうとの下心で如何なる外交駈引で人絹問題がシムラ會商の議題に供されるか日本側にとつては全く油斷ならぬものとして注目されて居る

尙は印度協議會は二十六日終了してランカシア綿業代表は同日中に印度綿代表は二十七日夫々シムラへ出發の豫定

陸相提唱の國策樹立

首相以下態度微溫的

近く諾否の回答を求めん

軍部中堅の態度强硬

〔東京廿七日發〕荒木陸相が農村の指導精神、之に立脚する諸國策樹立の提唱を爲して以來既に一個月を經たが齋藤首相以下各閣僚の態度微溫的で而も明年度豫算の成立を目前に控へ一日も忽せにし得ぬ時期に在るので數日中に荒木陸相は齋藤首相と會見し提唱に對する齋藤首相の決意を促し出來得れば實行諾否の即答を求める肚で居ると云はれ萬一齋藤首相が此提唱を拒否或は拒否せぬ迄も事實上有耶無耶に葬らんとするやうな場合如何なる態度に出るかは陸相は堅く沈默し居るが部內中堅方面一般の空氣を綜合すれば現內閣が右提唱を省ねば非常時に處する資格は無いのみか却つて惡化させる存在に外ならぬ故、斷る場合には陸相は宜しく現內閣の總辭職を斷乎提唱すべきである、と爲し態度極めて强硬且つ眞劍である

支那借款棉花の買入懇願と

我外務並紡績界の意向決定

〔東京廿七日發〕南京政府が曩に米國政府との間に締結した棉麥借款の棉花資金化に窮し、中國銀行總裁張公權を通じ頻りに我在華紡績業者に買入方を懇願して來てゐるが、右に就て外務省は頭初南京政府をして抗日及び內爭を激化せしむるものとて買入反對方を訓令して置いたが其後支那側の實情が判明するに從つて愼重なる對策を考究して居たが外務當局並に紡績業者は愈々次の如き態度をとることゝなつた

一、從來支那が執拗な排日排貨を行つて居たに拘らず今回の如く自己の都合の惡い場合に當り其態度を一變し日本に懇願的申出を爲し來れるは我國の甚だ遺憾とする所である

一、殊に南京政府は排日排貨を國策遂行の合法的手段なりと豪語し來れるを我國の斷じて承認し得ざる所で此際南京政府は最も明白に從來の態度の不合理誤謬なりしを認むべし

一、若し南京政府が翻然として右の態度を執るに於ては我國紡績業者でも支那の國內建設に寄與すべき大局的見地から棉花買入を行ふべし

對聯盟逆宣傳

策動警戒方

在壽府伊藤述史氏へ訓電

〔東京廿六日發〕方振武、吉鴻昌等の聯合軍が北平を目指して『進擊』し北支の形勢再び亂れんとする如く見えるが、右に關し南京政府方面には方振武軍の裏面に日本軍が在つて之を使嗾し、北支停戰協定違反との逆宣傳をなし、加ふるに目下ジュネーブでは聯盟總會開催中の事とて支那代表部が事實を歪め、逆宣傳策動を始めるやも測り知れないのに鑑み廣田外相は二十六日事情の說明を附し支那側の態度を警戒し之が對策に萬遺憾なきを期するやうジュネーブの伊藤述史氏並に各國駐箚の大公使に宛て嚴密訓電を發した其內容左の如し

關東州及び附屬地

爲替管理法は十月五日より實施

〔東京二十六日發〕關東州及び附屬地に對する爲替管理法は二十七日關東廳より公布十月五日より實施されることとなつた

人事往來

▲武勇大佐（九州醫大服務）二十六日午後七時五十分着奉天より

▲佐々木大佐（第○○團參謀長）二十七日午前八時着奉天より

▲石原一等獸醫正（第○○團獸醫部長）同上

▲誠式毅（民政部總長）二十七日午前九時發奉天へ

▲山崎、小原小春一行二十六日入京商部ホテルへ投宿二十七日挨拶のため本社來訪

團体

▲工兵第○○聯隊○○除隊將校以下一三四名二十七日午前七時奉天より來京同日午前十時五十五分發哈市へ

▲朝鮮教育團二十五名二十六日東京ヤマト屋投宿二十七日午前八時四十分發哈市へ

▲茨城縣町村長團十四名二十七日午前六時四十分旭着ホテル投宿二十八日午前八時四十分發哈市へ

▲台灣教育團十六名二十七日午後六時五十五分着北滿旅館投宿二十九日午前八時四十分發哈市へ十月二日午後三時二十五分歸京午後四時三十分發奉天行豫定

▲朝鮮警官團五十三名二十七日午後四時歸京吉林より午後四時三十分發奉天へ

▲南滿工業教育團九十名二十七日午前六時四十分着旭ホテル投宿二十八日午前八時四十分發哈市へ二十九日午後九時十五分歸京午後十時發大連へ豫定

▲石川縣教育團十五名二十七日午前八時三十分發吉林へ午後九時歸京午後十時發奉天へ

▲全國師範學校長團五十三名十月三日午後六時五十五分着愛國藥學館投宿廿七日午前八時四十分發哈市行豫定

▲文部省主催實業團二十二名十月三日午後三時三十六分着部ホテル投宿豫定

▲三重縣教育團二十名十月一日午後三時三十五分着富士屋投宿豫定

▲福島縣教育團五名十月一日午後三時三十六分着旭ホテル投宿豫定

▲醫大學生七十四名十月二日午前六時四十分着午前八時四十分發哈市行豫定

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	[illegible]
同 遠限	[illegible]
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	[illegible]
米英爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]
スチール株	[illegible]
アナゴンダ株	[illegible]

●米棉　棉花

現物	[illegible]
十月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]
七月限	[illegible]

▲上海標金

昨止	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
本寄	[illegible]
歩値	[illegible]

▲上海日本向

第一回	[illegible]
第二回	[illegible]
第三回	[illegible]

▲上海倫敦向

賣値	[illegible]
買値	[illegible]

▲上海紐育向

賣値	[illegible]
買値	[illegible]

▲大連金鈔票

現物	[illegible]
九月廿日限	[illegible]
寄付	[illegible]
歩値	[illegible]

▲大連上海向

引	高値	安値	出高
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲大連臺台向

[illegible]	[illegible]

各地市場

▲阪神日米爲替　第一回　[illegible]

▲大阪株式

大株	[illegible]
大新	[illegible]
鐘紡	[illegible]
同新	[illegible]

▲同短期

大新	[illegible]
鐘新	[illegible]
東新	[illegible]

▲大連株式

大當	[illegible]
五品先	[illegible]
豆新	[illegible]
錢鈔	[illegible]

▲大阪三品

當限	[illegible]
十月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]
二月限	[illegible]
先限	[illegible]

▲大阪棉花

當限	[illegible]
先限	[illegible]

▲大阪期米

當限	[illegible]
中限	[illegible]
先限	[illegible]

▲仁川期米

當限	[illegible]
中限	[illegible]
先限	[illegible]

▲橫濱生糸

現物	[illegible]
當限	[illegible]
先限	[illegible]

▲神戸豆粕

十一月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]

▲大連特產

●麻袋	[illegible]
現物	[illegible]
九月限	[illegible]
出來高	[illegible]

▲カルカツタ麻袋

青麻	休會
筋	[illegible]
筋替	[illegible]

●大豆

袋込	[illegible]
九月限	[illegible]
十月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]

●豆粕

現物	[illegible]
十月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]
二月限	[illegible]

●豆油

現物	[illegible]
十月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]
二月限	[illegible]

●高粱

現物	[illegible]
九月限	[illegible]
十月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]

新京市況

	現物	出來
特產		
大豆	[illegible]	[illegible]
高粱	[illegible]	[illegible]
小豆	[illegible]	[illegible]
包米	[illegible]	[illegible]
鈔錢		
鈔票對金票	[illegible]	
現大洋對金票	[illegible]	
國幣對金票	[illegible]	
大洋對鈔票	[illegible]	

地委選擧　あとタッタ三日

新人候補の進出素晴らし
五味氏突如名乘をあげ　舊部戰線に大異狀

あとタッタ三日間に迫つて地方委員選擧もいよ〳〵本調子になつて來たが、殊に目立つのは新顔候補の素晴らしい活躍である、大原、沼田、黒田三辯護士がくつわを並べて猛進し『着々』新地盤を開拓してゐるがいづれも滿洲人方面に大きな期待をかけられてゐる模様で大原氏は中銀をバックにかなり著しい進出振りを見せてゐる、沼川氏また負けてはゐず此の兩三日大活躍の効果があつて多少出遅れの觀があつたのも今はすつかり取返した形で、黒田氏は前記兩氏に較べて案外地味ではあるが數會關係者その他をバックとして相當喰込んでゐるが多少『苦戰』の模様が見られぬでもない、一方舊顔候補としては勘崎得丸の兩氏が舊地盤を擁して盛んに活躍し、それに新進の加藤金保氏また滿鐵の宮城調明が喰入つて地方事務所を中心に各學校病院その他地方部關係の到るところで大混戰を見せてゐる、なほ丸山直助氏は斷念したが新たに五味武太郎氏が料理店組合、旅館組合その他を『背景』に突如名乘りを上げたため、舊地盤を守る舊顔連には相當の脅威であり正に戰線の大異狀を來たしてゐる

丸山直助氏出馬を見合せ　舊地盤放棄して

最初から確實に出馬するものとされてゐた吉野町一丁目現地方委員丸山直助氏はこの一兩日日和見の態で起否不明のところいよ〳〵立『候補』を斷念した模様である

二十七日丸山氏を訪へば生憎氏は不在であつたが留守居の人は語る

實は昨日一昨日まではまだハッキリしてゐなかつたが考ふるところあり此度びは見合せることにした、舊委員の顔觸れがだん〳〵減つてゆくようであるが、その理由は地方委員になつても大して優遇を受けるわけではなしたでの諸問機關で滿鐵が原案を執行すればそれまででと特に『競爭』してまで出たくはないといふ肚からではないでせうか

なほ同氏の舊地盤放棄によつて相當各候補者に影響あるわけである

五味武太郎氏立候補

新京地方委員候補者として中央通富士屋旅館五味武太郎氏が新京旅館組合、ジャパンツウリストビウロウ新京支部有志、新京料理店組合、長野縣人會有志、新京自動車營業組合その他友人一同の推薦によつて二十七日出馬することに決定した、これで總員十八名となる勘定だが別項丸山直助氏の辭退により、やはり十七名となるわけである

得丸氏立候補挨拶　今夜長春座で　遠山氏が紹介

遠山滿一行の實演が今二十七日から長春座で開演されるが遠山氏と現地方委員副議長得丸助太郎氏とは從兄弟の間柄である關係から同夜實演の幕合に得丸氏から一般觀衆へ立候補の挨拶を述べることになつた

悲しき遺骨還る

關東軍司令部法務部録事川西與次郎氏の遺骨は二十八日午前九時發列車で內地へ送られる、同日午後三時二十五分着列車で堀江五十聯隊の歩兵少佐星野勝吉郎氏、同獸醫市河宅觀氏外十六体の遺骨到着、直ちに西本願寺に安置し兩鍋に在る同聯隊の戰友が二十餘名が懇ろに通夜を營み翌二十九日午前九時五十分發列車で內地へ送られることゝなつた

興安省各機關　殉職者の追悼會

二十七日午後四時半より西本願寺において滿洲國主催の興安省各機關殉職者追悼慰靈祭が行はれた、これは同省政治工作其の他各事業のため殉じたる十六体合同慰靈祭で興安省、滿洲國側から多數要人の參列あり弔詞、弔電の朗讀あり六時盛會裡に終了した

料亭等の酒類近くあげるか
組合からも陳情當局も認め　輿論を聽いた上で

新京料理店組合では最近內地より輸入の日本酒が滿洲國附加の關稅の影響で著しく暴騰し、『現在』の賣價一本三十五錢ではあまりに薄利で現狀維持では到底持ちこたへて行けないといふ口實の下に二十六日同組合の代表者八千代館瀧、南海吉本、永樂宇野の三氏が新京署保安係に出頭一本五十錢に値上を陳情する所があつた、同組合の値上陳情は今はじめての事でなく組合長瀧氏は去年末より數十回に亘つて當局に對し苦衷を披瀝してゐるが其都度未だ時機でないとて保留されてゐたもので同組合中には幹部不信任の聲さへ起つてゐる、同組合のいひ分としては事變前迄は菊正一樽六十五圓から七十圓位で手に入つてゐたが、現在では一樽百十圓を要し四十圓乃至五十圓の暴騰振で大連の組合では一樽五十四圓乃至五十五圓でこれを賣つてゐるが大連並では現在の『新京』として收支が償はぬといふのである、これに對し保安係としても同組合の苦衷は良く察して居り暴騰の事實も認めてゐるが同組合の値上は各方面に多大の影響を及ぼすもので輿論に訴へた上で輿論の一致する處であれば、常然値上を斷行すると同係も中間に立つた苦しい立場で保留してゐるが何れは近く幾らかの値上は止むを得ぬものと見られてゐる

執政の傷病兵慰問

溥執政は日滿傷病兵慰問のため九月三十日より十一月上旬に亘つて從侍武官を全滿各地に差遣傷病兵には酒肴料兵士には煙草を贈られる由酒肴料は准士官以上五圓下士三圓、兵卒一圓五十錢である

來春を期し　新京圖書館大造築

新京滿鐵圖書館では急激に增加した新京市民の要望を充すべく內容の整備竝八萬圓の豫算を以て來春早々館の增築工事及書籍購入に取りかゝることゝなつた、遲くとも來夏中には一切の設備を終る筈であるが、右に就き木下館長は語る

以前から考へてゐたことですがやつと豫算を認められたのでこれから內容充實に專念したいと思ひます、唯今藏書は現在の上に二階を造ることになつてゐますが、同時に最近良く出る圖書に關する資料の最新刊をも集めたいと考へてゐます

日滿江防艦隊　十月一杯で終航

〔ハルビン廿七日發〕松花江の航行も近く結氷期に入るので十月一杯で愈々本年は終航となるが沿岸廣汎な『範圍』に亘つて日滿陸軍と協力し匪賊討伐に赫々たる武勳をたてた日滿江防艦隊の功績を辿つてみれば左の如くである即ち、日本海軍は常に滿洲國の江防艦隊を善導し匪賊討伐して船舶航行の安全を圖ると共に小林海軍司令官は日章旗を翻して江に進み滿洲國江防艦隊も又軸艫相銜んで黑龍江を下りウスリ河に進んで匪賊に拉致された銅山號を奪回し更に長驅して虎林に進出して同地方の匪賊を徹底的に討滅する一方他は漠河を越へアルグン、シルカの合流點を突破して進出したが、右合流點を去る約二十キロの地點で露出せる岩石に阻止されて續行するを得ず、やむなく引返すに至つたが、江岸に高く聳立する利民利同の兩艦は大巖壁に「滿洲國江防艦隊始航記念」と刻印して下航したが、日章旗を掲げた軍艦廣寧、廣慶は匪賊の『討伐』に目覺ましき活躍振りを發揮し匪賊を發見すれば手當り次第に殲滅した結果、沿岸の匪賊は一掃されて治安は完全に維持され商船隊は先を競ふて貨客を滿載して航行するに至つたので、沿岸の貿易も自然殷盛を極める樣になり沿岸百萬の住民は擧げて日本海軍の黒威に感泣してゐる、他方滿洲國江防艦隊の精鋭大同、利民よりハルビン滿洲國江防艦隊司令部にこの程達した情報によれば、漠河庄民は滿洲國軍艦の來航を聞き一日千秋の思を以て待ち焦がれてゐたので老若男女擧つて日滿兩國旗を振りかざして大歡迎しアルグン河々口より約二十キロの淺瀨一帶に散在する岩石は目下減水のため殆んど露出して航行困難なるため本年度のアルグン河遡行はこれを以て打切る事とし同所江岸の『巨巖』に「江防艦隊大同、利民始航紀念、大同二年五月廿一日」と刻印したと云ふ、右の如く日滿艦隊の活躍は實に目覺しきものあり地方住民は治安の確保により喜々として業務にいそしむ事が出來るので狂喜の態であると

新京中心の各驛　ペスト防疫陣

四洮線通遼及開通附近並に農安地方において目下ペスト猖獗を極めつゝあり、萬一の場合を考慮し萬全を期せんがため新京驛及び新京鐵道事務所管內各驛では左の通り防疫對策を定め差當り實施すべき事項については直ちに着手し、狀勢に應じて實施すべき事項についてはその都度鐵道事務所に稟告し連絡をとり事前にこれが對策を講ずることゝした

一、各驛區において取敢へず實施すべき防疫對策
　驛舍、倉庫其の他殺鼠並客車及宿直室其の他の南京虫蚤等の驅除（殺鼠劑タルサンバリウム、殺虫驅除劑アース）

二、狀勢に應じ隨時實施すべき對策
　イ、消毒器具及藥品を備付置き旅客其の他の出入ある個所は常に消毒し且つ出入口には消毒藥を撒布するマットを備付のこと
　ロ、接客係員及客車掃除係員は塵埃除眼鏡をかけること
　ハ、必要驛には關係の向と打合臨時防疫員を駐在せしめ乘降客の檢診に當らしめること
　ニ、更に必要の場合は防疫班を組織し各旅客列車に乘込み檢診せしむ

三、ペスト患者發生の場合の應急的處置
　イ、驛において發生の場合
　ロ、列車內において發生の場合等々詳細に對策を講じて防疫上遺憾なきを期すはず

兒玉博士夫人　京都市內に潛伏か
沙河口署から取押へ方依賴

〔大連二十六日發〕獵奇的怪殺人事件發覺と共に沙河口署搜查本部では兒玉博士夫人と中國秀雄の逃亡先につき夫々手配をはしたが、勝美夫人並に中國は十三日大連發うすりい丸で大連を逃れ途中尾道に立寄り數日滯在の後京都に赴き、上京區塔之段松木町三二三高須合資會社員高須三雄方に潛伏してゐたまでの足どりは判明したが、其後の足どり不明で沙河口署では直ちに京都府警察部刑事課宛取押へ方を依賴し返電を鶴首して待つてゐる

俄然兒玉博士に疑惑の眼光る

〔大連廿六日發〕戀愛葛藤の末遂にトランク詰となつて現はれた青柳寅の死体は廿六日午前八時卅分より博愛醫院に運ばれ、解剖に附されたが、外傷は頭部の眞中、咽喉上部外九ケ所で致命傷は咽喉部の前から後に突抜けた傷で、而も之等の傷は孰れも傷口にガーゼを詰め立派に縫合せてあつた

右解剖の結果傷口の手術等より兒玉博士の身邊を繞つて疑問符が付けられるに至つた

〔大連廿六日發總通〕獵奇を極めた大連兒玉博士邸の殺人事件は目下沙河口署に於て兒玉博士以下關係者の取調を繼續してゐるが未だ事件の核心をつかんで居ない、事件は去る五月夜十一時頃博士邸に於て勝美夫人の愛人對馬町六二滿鐵社員青柳寅（二八）が殺害され、死体はトランクに詰められ、遺棄されたものである

兇行は夫人の結婚前の愛人元大連汽船の湖南丸の司厨長中園秀雄（三二）が夫人と共謀の上行つたものであるとの見込の下に當局は中園及勝美夫人の行方を極力搜查中であるが一方博士の言動には多分に疑問が含まれ或は五日夜青柳を詰問の際口論格鬪となり過つて博士は青柳を死に至らしめ處置に窮して死体をトランクに詰め中園に依賴して遺棄したものでないかと見られ博士の自供たる中園が兇行を演じ博士自身は死体の始末を手傳つたに過ぎぬと言ふのは極めて根據薄弱であるとの說も出てゐる

ハルビンで露貨頻繁に賣買さる

〔ハルビン廿七日發〕最近ハルビン市場就中錢莊で露貨チエルウオネツが頻繁に賣買されるに至つたが賣買相場は哈大洋票一元に對して七、八ルーブルである、右ルーブルは最近北鐵より本國に引揚げる赤露人又は露領を通過して歐洲へ向ふ旅客が暗相場で使用するといはれてゐるが携帶して國境でソ聯官憲に發見される者もあるが一說によるとソ聯當局が外貨と交換するため窃かに國外に自國貨を賣り出してゐるとも取沙汰されてゐる、右の如く露貨は本國においてこそ公定相場で一定の價値を有するが一歩國外に出れば國際的貨幣でないだけに全く二束三文の價値しかない

劍劇界の雄　遠山滿來る！
今明兩夜長春座出演　小原小春が女房役

お馴染みの遠山滿と小原小春を中心とする劍劇團が突如今二十七日夜から長春座で開演する、遠山が『今月』の初旬大連劇場で開演したと傳へられて以來いつ來るか〳〵と彼の藝風を知るものは待ち佗びてゐたところだから豫定の二晩は大入滿員疑ひなしであらう、遠山氏は新京の現地方委員會副議長得丸助太郎氏の從弟であるところから、たま〳〵今度の地委改選を目捷に控へてゐるので今夜の幕間を利用して入場者に久々での挨拶を述べまた得丸氏は紹介に得意の快辯を振ふさうである、因に今夜の一夜は遠山氏と意氣の合つた達者な幹部どころへ美しい映畫女優を加へた大一座で例によつて溜飲の下るやうな藝風を見せるであらう、曾ては森の石松で連日大入滿員をつゞけた天下一品の至藝の外得意中の得意とする藝題は、一幕中邦枝完二作の盜賊劇派一幕中二場遠山文藝部作上陸第一歩一幕二場、長谷川伸作一本刀土俵入り一幕四場、同元祿痛快兒一幕三場、遠山文藝部作足を洗つた俺だ一幕四場川村花菱作新釋なさぬ仲一幕八場菊地寛作醉ひどれ忠彌一幕四場泉鏡花作瀧の白糸一幕五場その他である

『今夜』は軍隊慰問を兼ねてゐるので極めて短期興行で新京を打上げると吉林、哈爾賓、齊々哈爾方面を廻ることゝなつてゐる

初日藝題
上陸第一歩　一幕二場
一本刀土俵入　一幕四場
元祿痛快兒　一幕一場

菱刈長官　滿鐵の招宴

〔大連廿六日發〕菱刈長官は廿六日午後四時今岡副官、辰已參謀、藤原秘書官を從へ來連、星ケ浦の星の家に於る滿鐵の招宴に臨んだ、滿鐵よりは村上、河本、十河三理事出席主客歡を盡して長官は午後八時歸旅した

鶴見沖合碇泊の天洋丸火炎を起す

〔橫濱廿六日發〕鶴見沖合繫船中の天洋丸より發火二時間後鎭火したがこれは二度目のことである

材木屋の惡店員二名捕はる

新京署司法係池水、成松兩刑事は二十七日午前一時三十分頃大和通支那料理蓮香班で豫て手配中の橫領携帶犯人福島縣生れ岡田友治（二三）を逮捕嚴重なる取調を行つてゐるがおは吉林省本林本店員で二十六日主人より滿洲銀行で二百圓の佛民の使を命ぜられたを奇貨とし勝手に五百圓を引出し直に哈爾濱へ徒歩にて逃走其れより乘車來京市內東一條巴旅館に下九台吉藤良一と假名して止宿同夜前記料理店にきまり込んでゐるのを御用になつたもので前科二犯の强たか者である

大颶風メキシコ市を襲ふ　死者五千負傷算なし

〔メキシコ市廿五日發〕廿五日夜メキシコ東岸一帶を襲ふた颶風の被害甚大で死者五千負傷算なくメキシコ市四分の三は壞滅に歸す

阿部氏赴任　廿六日午前九時

滿鐵新京地方事務所阿部上地係主任は本社地方部勤務を命ぜられ二十八日午前九時發列車で赴任に決し二十七日暇乞に來社した

五、一五民間被告公判
橘氏の陳述　滿廷を傾聽せしむ

〔東京廿六日發〕五、一五事件續審木內檢事の公訴事實を述べた後辯護士團は減刑歎願書數千通を『提出』し裁判長は整理の上拜見すると述べ、大川周明、頭山秀三、本間憲一郎は審理を分離し適當の時期に併合するとし十時二十五分休憩、零時十三分開廷され、愛鄕塾頭橘の訊問開始され橘は神經質な蒼白な顔をし大正元年一高退學後茨城縣で農場を經營し昭和六年愛鄕塾を開くに至つた經過を說明し、自分は幼兒より剛情我儘だつた、其反面に曲つた事が大嫌ひで情に脆いと性格を述べ、高校時代に偉い人間とは出世する事でなく慾望を棄て救國濟世の人格者であると信ずるに至り學校を棄て鄕に歸り農民の首領となつた經緯を述べ、滿廷肅然として聲、論ずれば、橘は農民の生活を滅ぼす資本主義末期の現象として農村疲弊し小作爭議は『頻發』し、之を救ふには國家改造の外なしと信ずるに至つたと陳述し三時五十五分閉廷した

陸軍側被告　二十九日より豐多摩刑務所へ

〔東京廿六日發〕陸軍側被告は廿八日中に司法省より正式通知して廿九日豐多摩刑務所へ移される筈であるが、面會文通共に寬大に取扱はれる筈である

妻壽キ儀永々病氣ノ處養生不相叶二十七日午前一時三十三分新京滿鐵病院ニ於テ死亡致候間此段御通知ニ代ヘ謹告仕候也
追テ明二十八日午後一時三十分自宅出棺西本願寺ニ於テ葬儀相營可申候
九月二十七日

夫　坂本勝
親族・總代　坂本政次　道山七郎　井上定弘
友人總代　二階堂乘　渡邊英二郎　梅津清兵衛　西村儀三郎
第三區町內會總代　島名福十郎
熊本縣人會總代　岩坂杢三郎

坂本氏の不幸

記念館前吉野麻雀俱樂部主坂本勝氏の妻安壽きさんは永く病氣療養のため入院中だつたが二十七日午前一時三十三分死去、葬儀は二十八日午後一時半自宅出棺西本願寺で執行する

慶安異聞 艶魔地獄

(舞臺上演・映畫化)　玉水三郎　(畫)長谷川小信

(四十九)

主膳豪遊(三)

主膳は忠太夫の懐からはみ出してゐる紅半切れを睨んで、

「其書面を見せろ」

驚いたのは相川忠太夫、主人の命だから厭とは言へぬが、

「イエほんの朋友同士の、内所事を認めましたもので、御覽に入れるやうなものではござりませぬ」

「イヤ何でも可い、見せろ」

「之だけは御容赦を」

「見せぬか、コレ梅野……忠太夫の懐中せる書面を取れ」

「畏まりました」

常から女中等に憎まれてゐる忠太夫、忽ち梅野と他の二人の腰元が、左右から取つて押へて、無理に懐中の一通を奪つて了つた。

「ア、左樣な物を……コレ〳〵御前に御覽に入れてはならん」

その間に梅野が青山主膳に差出したのは、大淀が送つた呼出しの状。

青山主膳がこれを讀んで、更に加賀爪甚十郎、松平紋太郎、坂部三十郎へと回覽させた。

「イヤ之は色男だな。當家の用人は……」

「コレ相川忠太夫とやら、此處へ出さつしやい。一つ大淀の惚氣でも承はらうかな」

「イヨー〳〵女殺し〳〵」

忠太夫眞赤になつたり、又主人の顏を見ては眞青になつたり。モジ〳〵してゐた。

主膳はあざ笑つて、

「コリヤ忠太夫、大淀と申す遊女は、餘程其方が慕ひ居ると見えるな。餘程久い馴染か」

「ヘッ、恐れ入りました。唯一度呼びましたゞけで、手前は如何樣にも思つて居りませんに、斯く書狀を寄越しましたので、甚だ迷惑仕ります」

「嘘を吐けッ、迷惑どころか餘程嬉しいのであらう。今晩其方がソワ〳〵致し居るのは、早速此文によつて三浦屋へ繰る約束なのであらう」

「イエ却々もちまして」

「イヤ隱すな……何と御一統、忠太夫を慕ひ居る女を見物かてら是より吉原へ繰らうではござらぬか」

坂部三十郎は膝を進めた。

「御同意申す、直ぐに繰らう。平生より女嫌ひと言はる、青山氏が遊女町へ行かうとは珍事だ……なア加賀爪」

「大きにさうだ。松平、貴公は大分吉原は明るからう。案内して吳れんか」

青山主膳笑つて、

「イヤ案內者は忠太夫、色男として先達申附ける」

「アッハヽヽヽ、こりや面白い。さア行くと極まつたら、少しも早く繰らう」

主膳は心中に、大淀に就て斯う考へた。

「謀叛人高坂甚内の娘として、八重なる者は奴遊女として、三浦屋四郎左衛門へ下げ遣はした。事に由つたら大淀が其八重ではあるまいか。夜前斬り殺したる菊の、妹、遊女となつたれば嬉しい事であらう。菊の戀は破れた返報に、八重を我物にして吳れやうか」

妙な意地になつて來た。

困つたは相川忠太夫一人、面目もないが主人を始め、旗本三人の吉原行きに、案內者とならなければならない。面白がつた四人は、直ぐ辻駕籠をいひ附け、吉原指して乘込む。

直ぐに吉原京町一町目の三浦屋四郎左衛門方へと思つたが、忠太夫もいろ〳〵心算があるので、

「エ、仲之町の揚屋、井筒屋へ御案內仕りませう」

「オ、何れでも可い。案內者の案內に任せる。然し大淀は是非まげても呼ばねばならぬぞ」

「心得ました」

遂に井筒屋に駕籠は樓附けとなる。

九月二十八日　舊八月十九日　木曜　丁酉　佛滅　建　斗宿

●一白の人　吉なるに安んぜず智慮を包みて外に現すな　乙と未と亥が吉
●二黑の人　元氣なる活躍を要するも落穽に陷る事勿れ　亥と癸と丑が吉
●三碧の人　甚だ不良にして百事警戒を要す病疾に注意　未と亥と寅が吉
●四綠の人　舊狀を繼續すべく他事を企てざるによろし　乙と未と寅が吉
●五黃の人　商談捗らず有利に展開せず他は差支なき日　庚と癸と丑が吉
●六白の人　獨斷妄動は大禁物の日定業に勉めらるべし　丙と庚と亥が吉
●七赤の人　末を樂みに精勵すべき日開店普請緣談等吉　戊と亥と癸が吉
●八白の人　運氣優勢にて大事も遂せられ吉慶到來の日　庚と壬と癸が吉
●九紫の人　衰運を呈すれども小成に安んじ居れば宜し　乙と巳と癸が吉

文天祥の眞筆 奉天で發見さる
衛戍病院の佐藤齒科醫長が
時價十五萬のもの

新京衛戍病院齒科醫長松尾澄一氏は滿洲事變前から奉にあつて張作霖麾下の某滿人方に有名なる書繪を多數藏することを知りそれとなく調査し事變直前その宅を訪れて藏書を調査中稀々一巻の氣品ある名書を發見、文天祥の署名に心魅かれて買ひとり歸宅したがその後書繪の鑑定で有名な友人奉天の佐藤氏や、元師範學校長陳氏が鑑定の結果正しく文天祥の書と判明、今回鄭總理の御照鑑に供して激賞を賜りこれを傳へ聞いた好事家間に俄然大評判となり、連日觀賞客が押しかけ今や時價十五萬圓と唱へられるに至つた

喜びを語る 松尾澄一氏
その入手の經路

藏書家松尾氏を衛戍病院に訪へば「甚だおこがましいことですが」と前提しながら入手の事情を語る

この書は奉天の某滿人宅で手に入れました、古書の山の中で只何となく氣當があり目を惹いたので

「別に」除けておいて後から再び見たところ文天祥の署名があるところから例へ僞物にせよ、これだけ氣品があればと買つて置きました、その後友人の佐藤と云ふ人が書に詳しいので見てもらつたところ間違ひないと云ふし、又元師範學校長をしてゐた篤學の士陳氏にも見てもらひましたところ間違ひないどころかこんなに完全な文天祥の物は見たことがない、一字萬金を出すとも惜しくないと激賞されました、そこでこの樣な書を然も日本人に最も親み深い「正氣の歌」の作者の書を個人で持つてゐるのは惜しいので鄭總理に獻上しやうと思つてゐたが事變のため

「今日」に至りました、先日鄭總理は詩書の大家で、然も文天祥と同じ環境を經た人であるので御覽に入れたらさぞお悦びになるだらうと御照鑑を願つたところ、激賞されてせめて寫眞でも下さいとの事でしたから寫眞を差上げました

文天祥の書は正氣の歌は獄中の作で二百六十字あるが、原本はなく別に手紙も一本あるとの事ですが現在滿支では數へるほどしかありません、この書は天祥の孫、需孟から寬中に獻上文山公獻上の刻印があります」字は弘法大師と字競べしたと傳へられる名書、詩は高尚な正氣を謳へる句で日本人に「親み」深く今後機會あれば一般に公開する方法を採りたいと思つてゐます

自首
集金横領店員

二十七日午後二時頃新京署司法係を訪れた紳士風の堂々たる若者が「私は得意先の集金を横領費消しましたので自責の念に堪えられず自首します」と申出たので河本警部補が取調を行つた處右は市內吉野町二丁目佐藤洋服店々員鵜崎民之助(二六)で昨年八月下旬外交集金人として雇はれ本年二月頃より七月頃迄に得意先の集金一千五百圓又九月二十三日より二十六日迄の間に二百圓を横領城內五馬路料亭三杉、上州樓、日光樓、三福東三馬路の龍口亭及三浦屋ダンスホール、カフエー等に費消しなほ三百圓余を所持してゐた、同係では直に店主佐藤氏の出頭を求め詳細なる調査を行つてゐる

地委選擧は俄然活氣横溢
きのふ三候補が突如現はれ
戰線全く混亂狀態

最初顏觸れに上つた地方委員候補者も新人候補續出のため多少尻込み氣味の處四戶、丸山、宮崎、宇野氏らの舊巨頭連がいづれも再起を斷念し

「選擧」も多少活氣を失つた觀があつたが俄然選擧あと三日に迫つて俄然新顏として中央通富士屋旅館主五味武太郎氏突如名乘をあげるあれ、引續き千鳥町一丁目上田賢象氏が遂に周圍の事情許さずけつ起を決心した模樣で早く取卷連によつて猛運動が開始された、なほ同日吉野町一丁目宮本嘉久次氏が鄕軍關係その他をバックにいよく勇躍することになつたと傳へられるに至つた、氏は

「現在」長勇會幹部で長春草分時代からの舊顏であるが鄕軍關係の後援如何によつては相當な成績を見るべく一般候補者に取つても強敵と見られるなど地方選擧もこゝに漸く活氣が横溢して來た

宮木氏立候補か

在鄕軍人會關係から四戶現委員が勇退し、また早くから顏觸れに上つてゐた下德直助氏も見合せることゝなつたゝめ同會關係から何人が出るか一般から注目されてゐたが、いよく吉野町一丁目長勇會幹部宮木嘉久治氏が出馬することになつたともいはれてゐる

上田賢象氏 漸く名乘あぐ
周圍から猛運動

上田賢象氏は現在新京地方委員なるも、次期の出馬は斷念したと傳へられてゐたが、同君の如き人格識見共に高き且つ公共心に富む人士の引退は斯界の爲め甚だ遺憾だとし、新京特產物商組合員有志及同氏の友人は此際理想選擧を標傍し、同氏の出馬を促し猛運動を開始することゝなつた、恐らく同氏の當選も疑ひないと見らる

誰を選ぶ?—地委選擧を語る (B)

新顏よ出でよ 賣名の徒は大嫌ひ
第五區長 小澤禎吉郎氏

いふまでもなく地方委員は滿鐵の諮問機關であるからその委員には大言壯語なんぞ少しも必要がない、委員を選ぶについてはまづ新京のために私慾なく熱心に働いて吳れる人を要望する、賣名の途はこの際斷然排擊すべきものと思ふ財產の有無などは別にかゝはるところでない、たとい財產がなくとも吾々在住民が信頼出來る人でなくてはならない

□

それからこれは自分が、わざくいふまでないことだが在住民としての義務觀念に缺けたものは地方委員として資格はない、かゝる見地から現在の地方委員を見ると果してどんなものだらうか、自分は現委員中で再選してよいと思はれるものは僅か二名位しかないと思つてゐる、それで今度の地方委員選擧でその顏觸れが大いに改造されることを望んでゐるものだ

(註)小澤氏は日露戰後から引續き滿洲に在住滿鐵で各病院の事務所の事務長また新京地方事務所の庶務係長などに任したと性極めて硬骨、公人として誠に熱心な人である

教育、衛生に理解のある人
新京公學校長 小林治郎氏

今度の選擧にはぜひ教育關係から一名出したいと思つて上原氏(室町校長)にお願ひしやうとしたが同氏の健康を憂つて遂に斷念するの止むなきに至つた、それで東商業校にでもぜひお願ひしやうといふのであつたが東氏も自重して遂に見合せることになつたが實に殘念なことゝ思つてゐる現在教育關係の票が百餘票であるが次期選擧には百五十票にもなるらうから是非一人は出したい積りだ

□

これからは新京もいろくと重要性を加はるだらうが滿鐵から教育關係について諮問があつた場合直ちに答へられる人がぜひ一人位はあつてよいと思ふ、委員はなるべく多方面に亘る方はよいが特に自分の希望としては教育衛生に理解のある立派なお方に出て頂かなくてはならないと思つてゐる

孔子祭の意義（上）
關柏年

本月二十三日の政府公報に執政の教書として「本年九月二十八日は仲秋上丁先師孔子を祭るの日なり本執政親ら詣で奠を獻け典禮を行はんとす國務院より文教部に轉令し之が準備をなさしむべし」と發表されました、我滿洲國建國以來昨年の仲秋、本年の仲春の兩次丁祭には文教部が全國一齊に擧行する樣命じたのでありますが、今次は執政の教書を以て執政には御親拜せられ、典禮は頗る莊嚴なるものであります、文教部は執政府掌禮處と協同して清朝時代の舊制を參考に禮節を規定致しました、私は掌禮處に奉職致して居ります關係上、茲に其の意義の大要を述べ度いと存じます

×

孔子をお祭することは漢の時代に始り、其後唐、宋、元明の歴代帝王は總て孔子を崇拜し、首都より地方の各縣に至る迄何れの地にも孔子廟を建立して春秋二期にお祭をし清朝となるに及んで祭禮は尤も莊重となりました、大清會典事例の中には當時のことが詳しく記載せられてあります康熙、乾隆時代には地方巡幸毎に行幸先々の孔子廟に親拜せられたものであります、光緒の末年制定せられた教育宗旨には君の次に孔子を尊ぶこと、又孔子廟を大祀と特定し天地祭祀の禮と並び重ずることになつて居ります

×

執政は退位せられた後宮中にてお祭を營む際供物、器具禮樂等は完備せしめることは出來なかつたけれども孔子崇拜の意は極めて敬虔にして、宮中を出でられた後も此の祭禮は續けられて居たのであります、今度執政は教書を以て御親拜せられることは先朝の家法を守り且全國民に迪るべき正しき道を示されんがためであります、新京の孔子廟はもと一縣の廟で首都のものとは異り御殿は甚だ狹隘にして祭器樂舞も完備して居りませんでしたが、文教部が事前に祭器を增置したり舞樂を教習したりして準備を整へました、今日各執事官は予行に集りましたが盛容の盛大、節文の尊、嚴肅なる念を起さしむるに充分でありました

大丸舊館裏で梟を捉ゐる
心當りの方は大丸蒲原氏へ

二十七日午後三時五十分ごろ新京吉野町大丸旅館(舊館)止宿蒲原氏が同館裏手をながめてゐると裏屋根に大きな梟がとまつてゐるので巧みにこれを捉え早速本社に「逃がした心當りの人はないでしようか」とたづねて來た當分蒲原氏が飼育してゐる由で心當りの方は直接交渉せられたいと

演習參加の商業生けふ歸る

鞍山、遼陽方面の滿鐵中等學校聯合演習に赴いた新京商業學校生徒四、五年生は二十八日午前六時着列車で歸京する筈であるが內十名は二十九日鞍山で行はれる滿鐵地方部主催の射擊大會に出席する

寬城子にペスト
調べてみれば猩紅熱

寬城子にペスト患者一名發生すとの報に接した新京警察署消防署、鐵道事務所では血眼になつて現場に急行應急策に着手したがこれは全くペストとは別物の猩紅熱で發熱したもので當局でもホツトした、同患者は二十六日午後二時死亡した

防疫効を奏し
農安のペスト漸次終熄
現在患者僅か三名

農安縣下一帶に恐怖の魔の手を延ばしてゐたペストも日滿兩國の徹底したる防疫により漸次終熄しつゝあり二十七日滿洲國衛生司に達したる情報によれば現在農安縣下の患者は僅か三名で內一名は防疫從事員の罹病である、なほ本社の特報によつて世人の同情を集めた主于屯の家族九名中八名迄は死亡したるに罹病中の小兒が一人奇蹟的に救はれたのは血清注射の結果で泉ペストに此の注射を施せば四割は救はれる自信があるさうである、更に奉天醫大では醫師十名の臨時召集を行ひ二十六日出發農安に向つたから何れ詳細なる事は後日判明するだらう

洮南城內に
ペスト疑似患者發生

興安總署着電に依れば洮南城內にも遂にペスト疑似菌保菌者を出した、右は洮南大東門裡居住の滿人劉某の妻が二十四日發病、二十六日午後三時ペストの症狀を呈し死亡したので關係當局では城內住宅及び同人の勤務先の職業學校々消毒防疫を行ふ一方四平街に於て檢菌中であるが若し眞症とせば洮南城內もペストに侵入された譯である

興安總署でもペスト防疫

滿洲國興安總署に於ては同省內に半島樣に入り込んじゐる通遼縣を包圍してゐる同省の村落に、九家子モリン廟からペスト發生地住民が移住して來るので防疫のため二十九日から首家屯に防疫本部を置いて通遼縣を包圍した地域で檢疫及び人馬の通行を禁止するため二十七日藥液を發送した一方開魯から通遼に至る道路を擁して交通人馬物資の檢疫を行ふことになつた、尙同署の防疫が斯の如く遲れたのは豫算關係のためで、或は既に保菌者が省內に侵入してゐるやも判らぬと係員は憂慮してゐた

ハルビンでもペスト防疫委員會組織

農安方面のペスト流行に鑑みハルビンに於ても防疫陣を敷き大々的にペストを豫防する事になり、ハルビン臨時ペスト防疫委員會を組織し總裁にハルビン特別市長呂榮寰、副總裁にハルビン警察總長金桂榮其他顧問として第〇〇團軍醫部長笹井秀恕氏外七名を擧げ、全力を注いで消毒防疫に努力して居る

上下水の工事受付
十五日で締切

新京地方事務所で今春四月以來受付けた上下水設備工事の申請は上水四百八十件、下水三百件でこれを口數にするといづれも千口內外に上つてゐるが、同水道係では結氷期もいよく切迫したので來る十月十五日までゝ受付を締切ることになつた、希望者はそれまでに申込まなければ來年を待つよりほかないわけである

けふの孔子祭
執政自ら參拜し
早朝行はれる

けふ(二十八日)の秋季孔子祭は城內二道街孔子廟盛大に行はれる、これより先き執政には三日前から齊戒せられ執政府始め各部特任官、簡薦任官らは二日前齋戒、諸般の準備は文教部の手によつて萬事滯りなく終つて、いよく午前五時から崇聖祠の祭が營まれる、同六時執政には各官の出迎裡に孔子廟に着、小憩ののち通贊を從へて大成殿の位置につき、祭官、羊官、舞生、歌生らその後につゞきその位置に著くと大成殿に祭が始められるのである、執政には始獻、亞獻、終獻の三回に亘り古典に則り三跪九叩の禮を盡し香伯爵を備へられ昭平、宣平、秩平、叙平、平の樂は歌生によつて歌ひ、それにつれに舞生の舞があり各官は禮を終つて同七時半終る豫定である

兒玉博士夫人と情夫
未だ逮捕されず

【大連廿七日發國通】大連の兒玉博士邸に於ける殺人事件の捜査は其後些の進捗を見せず當局は重要な事件關係者たる中園秀雄、兒玉勝美夫人の行衛につき全國に手配して捜査すると共に目下沙河口署に留置中の兒玉博士及び屍體詰トランクの隱匿を引受けた橫山きみ(三六)とその情夫船員鈴木勉(四一)に就き連日取調べを行つてゐる

吉野町の露店
十月二十日まで

九月末日限り中止される筈であつた吉野町の夜店は今年の秋冷が十二日遲れてゐるのと例年になく好々績であつたため十月二十日迄に延ばすることに決定した

匪首を生捕る

【四平街支局發】廿四日午前五時頃梨樹縣第四區房身崗に匪首双五の率ゆる約五十の賊團出現の急報に接した同縣李警察大隊長は部下二萬五十を引率出動該匪團を擊破急追同縣第四區々境界の四馬架附近にて頭目双五を生捕りと爲し凱歌を奏して歸縣した討伐軍には一名の負傷者も出さなかつた

映畫國策研究會
第三回委員會

遲々として進まぬ內地の映畫國策に先じて着々具體化しつゝある滿洲國映畫國策の促進を期する滿洲映畫國策研究會第三回委員會は三十日午後四時から關東軍第四課で開催教育フイルム及公共團體購入の映畫用具の關稅撤廢問題につき研究を行ふことになつてゐる

東大出身の朝鮮靑年
外交官試驗に合格

【東京廿七日發】廿六日發表された外交官試驗合格者十一名の內張織壽といふ朝鮮人の秀才がある、同君は昨年東大法科の卒業である、氏は訪問の記者に對し「之迄殖民地の者でも外交官試驗に合格し得る事がはつきりとなつた譯で採用されたら大いに働きます」と謙遜しながら抱負を語つた

荒木陸相から執政に贈る
油繪を携へ
荒井畵伯來滿

【大連二十七日發】洋畫家荒井陸男氏は荒木陸相から溥執政に贈る美事なスケツチの油繪を携へ二十七日うらる丸で來連同日四時半北行した

吉凶禍福

△新京蓬萊町四丁目陸軍官舍十一號芳賀豐次郎氏次男寛さん、二十日出生

劍劇王 遠山滿けふ第二日

四年ぶりで來た劍劇十遠山滿と小原小春、それを圍繞する劍劇界の粒ぞろひに美しい映畫女優を加へた大一座、待ち構へた遠山贔負を始め、うわさに聞いてまだ見ぬ人々までドツと押寄せたので初日二十七日夜の長春座は階上階下文字通りの大入滿員、舞台は例によつて熱のこもつた眞劍味のあふれたる演出に觀衆は大よろこび遠山ツ、小原ツとすばらしい聲援、豫定の上陸第一歩、一本刀土俵入り、元祿痛快兒等を多大の好評裡に演了した、幕間には遠山君の從弟得丸助太郎君がうまい機會を捉へい遠山君紹介兼自分の地委選擧に先立つての抱負を市民に愬へるところがあつたのでなかく大賑ひであつた、因に二日目の藝題は滿山文藝部作快盜戲談一幕二場、同足を洗つた俺だ一幕四場、菊池寛原作森の石松一幕二場、菊池寛作醉ひどれ忠彌一幕四場等であるが初日の形勢から察すると遲れると入場出來ぬやうな大盛況を呈しさうである

滿洲國司法制度

（四）司法部總長　馮涵清

第三節　司法制度の改善

司法部は成立以來司法運用の改善に關し鋭意努力しつつあり、其の改革事宜に關し概略を述ぶれば左の如し

A 從來各省に於て區々に行はれたりし請負式の豫算の運用は弊害誠に著しきものありし爲司法部は會計整理委員會を設置し全滿司法豫算の秩序ある統制を計らんとし部員を各地方に派して公金運用の狀態を檢査せしめ所屬各機關の收支決算を明白ならしめ大同二年度に於て始めて体系ある司法豫算を編成することを得たり

（一）全滿司法豫算の統一編成

B 地方司法機關會計事務擔當者中現行會計整理方法を知悉する者極めて稀にして其大部分は未だ舊套を脱し得ざる狀態なり、斯くては司法會計整理に多大の支障を來すを以て本部に於ては大同二年度より所屬各機關に連絡員を置き主として會計事務を擔當せしめんが爲目下之を訓練中なり

（二）司法部法令審議委員會の設置

法律は社會制度の反影にして民意に基礎を置かざる法律は民衆の生活より離れ空文に歸するを思ひ先つ滿洲國の各種慣習の調査敎令第三號により「暫く採用すべき從前の法令」の審査並に將來施行すべき法令を審査せしむる爲に本委員會を設置し研究資料の蒐集及整理をなしつつあり

（三）行刑制度の改革

本部は主要地の監獄及看守所を改善せんか爲に行刑司の部員を各樞要地に派遣して監獄に於ける食糧、舍屋衣服、衛生狀態、及犯囚保護並に少年矯正に關する調査をなさしめたるも相當の經費を必要とするを以て新京、奉天、吉林、哈爾賓、齊々哈爾等の主要都市に於けるものを新築又は修理し漸次これが改善に着手することとし不取敢大同元年度に於て奉天看守所の大改築をなしたるか近く新京看守所の新築に着手する豫定なり、他方一般監獄行政改善の主旨を徹底せしむるか爲には獄吏及監獄衛生官の養成を必要とするを以て獄政訓練所を設置せんとし目下具体案の立案中なり

（四）主要法院及檢察廳の人事改革

司法行政の確立に伴ひ主要地の法院及檢察廳に學識人格共に優れたる司法官を配置するか爲に司法官養成所を設置すると共に少數の日本人判檢事を招聘して裁判及檢察事務の指導に當らしめ且つ涉外案件の審理及檢察を擔當せしめんとし目下之か人選中なり

（五）司法公報、監獄月刊の發行

各種の訓令、指令、人事の移動、主要なる法令、判決等々所屬各機關に周知せしむる爲司法公報を發行し又行刑方面の方針を所屬各機關に徹底せしめ且つ監獄事務に必要なる知識を普及せしむる爲監獄月刊を發行しつつあり

（六）司法法典の編纂及修正

A 審判院法、檢察廳法

司法部の「憲法」とも稱すへき審判院法及檢察廳法（此兩者を併せて日本の裁判所構成法に該當す）は既に第一次草案を完成せり滿洲國百年の司法制度之に代りて定まると共に司法法規の大部分は之を基礎とするか故に極めて愼重を期し範を日本の新裁判所法、檢察廳法（原嘉道氏司法大臣當時の立案に係る）に取り一方滿洲國の實情に即して鋭意研究中なり

滿洲國の文敎に就て

〔四〕文敎部次長　許汝棻

一、大學設立の準備

我國には今の處大學なく、高中卒業後上級學校に進むには外國留學するより外ないので大學の設立は我國敎育の目下の急務にして、本部は最近期間内に舊東北大學に基礎を置く國立大學を設立して高中卒業生の上級學校に進むべき途を拓かんと期して居る

一、小學校敎員の增俸

小學校敎員の俸給は少額にして又絶へず不拂の憂もあつて生活は赤貧洗ふが如く、此れが爲優秀なる敎師は他業に轉して漸く父母妻子を扶養し得ると云ふ有樣である。小學校敎師は兒童の一生の成敗に關係するところ大であるから、生活を安定せしめて終身事業となさせば其成就は觀るべきものがあり、若し敎師中に一時的の職業と見做して弊履の如く棄てるものがあれば兒童敎育に良好なる結果は得られない、本部は國家の財政に稍々余裕を生ずれば俸給を增加せんと期して居るが小學敎師が他業に轉ぜずとも事足りて終身兒童敎育に從ひ得る樣せしむれば敎育の前途は有望である

平民學校の設立計畫、近來民衆は軍閥殘虐に遇ひて商賣は不景氣農村は疲弊せるにより家庭貧困の爲に優秀なる子弟中失學するものがある故に平民敎育機關の設立計畫は緩にすべからざる問題である、獨逸の各聯邦及地方團體は公金を提出して學校を設立し、專ら家庭貧困にして就學出來ざる子弟を收容し且其子弟が學業を卒へる迄其父母をも救濟して居るが此は平民敎育の好實例と云ふべきである、以上は何れも本部の規畫希望事項である、敎育の道は總て人の長を採りて人の短を棄て殊に國家固有の精精美德を保存するを宜しとす、孔子曰く「文行忠信」と、本部は此の精神を以て人民を正軌に納めしめんと期して居るのである、現在奉天敎育廳に於ては敎育五ケ年計劃を樹てゝ居る、本部は極力其が繼續實行され、五ケ年の後には總てが完成されるのみならず所定計劃以上のものが出來上らんことを望み拭目して其の盛況を筆にせんと待つて居る次第である（終）

海の外から

□電氣音樂會

最近伯林で音樂が電波で表現される奇想天外の音樂會が開催されたが使用樂器は電氣ピアノ、電氣ヴアイオリン、電氣セロであつた

□星の世界から見る地球色

米國アリゾナ天文台のスライフア博士は倫敦のローヤル天文學會の講演で「星の世界から地球がある色に見える」旨講述、一同を驚かした、

□二萬の瓢虫群

米國加州の柑橘栽培家は柑橘の害虫、瓢虫驅除に關し有らん限りの努力を拂つてゐるが最近オーランド地方に約二萬の瓢虫群が押し寄せたので目下大童になつて對策講究中であるが何分にも細微の害虫の爲め非常に困難る見られてゐる尚お二萬匹の重量は僅か二ポンド位であるとは驚くの外はない

□新飛行機燃料

英國某栽飛行隊では目下石炭の無煙燃料製造の際生ずる副產油を試驗用として使用してゐるが效果頗る甚大なので完成の上は斷然他をナツクアウトするであらうと、因にこれは値段安く使用の揮發油等の混和劑を必要としないと

□廢棄物から大獲物

米國當局專門家最近の調査發表に依れば全米農場から每年投げ出される玉蜀黍や棉の莖又は麥稈類等の廢棄物總量は約三億噸に上る爲め是等を精製すればセルローズ一億噸精六百萬噸及び多量の醱酵劑を得られると、

□世界無二の素足警官

英國統治下にあるベンガル地方では治安維持に當らせる土人警察官を採用するに決し、此の程選考を終つたが、揃ひも揃つて全部が素足に槍といふ凄物で恐らく世界無類のお巡りさんであらうと

□英の電話度數制改定

英國遞信當局では國内電話度數制に關し料金徴達の手數を省くため右制度に一修正を加へる話が持ち上つてゐたが近く決定の見込みが立つたので來年の會計年度代りから一般通話契約者に使用命令を發することゝなつた、因に右は一通話每に規定の料金が受話機台附着のカウンターに明記されるものである

新刊紹介

ラヂオ欄

二十八日（木）新京

局	時刻	番組
奉天後	五、〇〇	子供の時間
新京後	五、三〇	ニュース
同　英語		
同後	五、四〇	ニュース
露西亞語 同後	五、五〇	ニュース
朝鮮語 東京後	六、〇〇	ニュース
新京後（東京中央放送局編輯）	六、二〇	（滿洲語）語學講座 高宮盛逸
	六、四〇	（日本語）同
奉天後	七、〇〇	相場 植松金枝
新京後	七、一〇	演藝（滿）
同後	七、三〇	講演（滿）
同後	八、〇〇	ニュース
東京後（滿）	八、三〇	時間
同後	八、三一	ニュース
新京後（東京中央放送局編輯）	八、四五	ニュース
同		氣象概報及グラム豫告
同後	九、〇〇	講演 演藝

鮮魚小賣相場

品名	價	品名	價
活鯛	八五	チヌ	三四
アマ鯛	三二	小鯛	四三
マグロ	八〇	ニベ	一二
ブリ	三三	ヒラス	四〇
サハラ	三三	スズキ	一三
サバ	二一	ヒラメ	二〇
ボラ	二〇	コチ	一六
コノシロ	二〇	キス	七〇
赤貝	一〇	ムツ	二〇
サヨリ	七六	クジラ	四〇
タコ	二七	イセエビ	六〇
中エビ	四三	カニ	一〇
アナゴ	二六	貝柱	二〇
シラオ	三〇	アワビ	六六
カキ	四〇	シジミ	八
カマボコ	二二	チクワ	八
小市	一二	ヤズ	一五
サケ	三六	アユ	九〇
明太子	四五		

野菜相場

九月廿八日

菜果之部

種別	高價	安價
白菜及ウ	三	
ワサビ同		
白ド同		
無同		
旁同		
人參同		
白菜同		
午根同	二〇	
蓮ワイ同		
同菜ク京		
水菜同		
玉菜同		
タカ菜同		
ヤクシン菜同		
ホーレンソウ同	三	
フダンサウ同		
赤茄同	八	
馬令薯同	五	
里芋同	三五	
于同	三五	
サツマ芋同	三五	
大根同		
玉大根同		
赤大根同		
フキ同		
ワラビ同	八	
シヨウガ同		
ミヨウガ同	三〇	
松茸内地同		
同朝鮮同		
チカボヤ同	八	

種別	價
セリ一把	
ミツバ同	
パセリ同	
西瓜一個	三五
同地物同	
ナスビ同付人	
マクワ一個	
サンショ一ニ	
リンゴ上百匁	六
同中同	
ナシ上同	
同中同	三二
バナナ上同	
葡萄同	
ユズ同	
レモン同	
カキ同	
桃同	
アンズ同	二
スモモ同	一〇
チープル同	四
キンカン同	
イチゴ同	
イチゴ同	
トマト同	
栗同	
密栗同	
密柑一箱	
夏密柑一個	
ダイダイ	
クシカキ一串	

黒船往來

禁轉載上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百五十三回

人身御供（八）

アレキサンテル號が、松前濱を退帆して二日ほどのうち、渡り旗本や失業浮浪の旅侍たちの疑惑のやつと滞らいだころ、北方探檢家の磯貝武七郎が漂然と歸滞した。

いや、實のところ、江戸表なる主君へ復命に赴かねばならぬ身であるから、歸滯といふよりも、寸暇をぬすんで立寄つたといふほどのよそ/\しさが、しぜん、おもてにあらはれてゐた。

武七郎は、足掛三年の奧蝦夷地遍歴で、骨の髄まで日にやけたやうな面やつれた顔を國家老、例の白髪頭の勘解由のところへ見せにいつた。

夜だつた。閑寂な居室で熊の皮の敷物のうへにちよこなんと坐り火桶をかゝえながら、頻りに物案じてゐた家老も、武七郎のとつぜんの來訪を、ことのほかよろこんで迎へた。

『おう』

が、敷居際に兩手をついて頭をさげた。粗末な扮装の武七郎の、變りはてたさまをみると、それ以上、すぐに言葉を掛けられなかつた。

うや/\しく頭をあげた武七郎の方でも、家老の兩鬢の白髪のいちじるしく目立つたのをみて、痛々しく感じた。

『太夫、やつと、ただ今歸滞仕りました。お變りもなくて何よりと存じまする』

『ありがたう。そこもとも元氣で歸つて來られてよかつた。さアさア、遠慮なくこちらへ寄るがよい』

『はい、何しろ、この見苦しい姿で……』

『いや/\、この粗末な扮装こそそこもとの身上だ。奧地の困難な旅がおもひやられる。さアずつとこちらへお寄り……して、何かな夏川氏は？』

武七郎は、急に口ごもつた。

『實は……』

『何か變事でもありましたか』

『はい、そのことについて、失禮ながら夜分扮装も介意ずお目通りをねがつた次第……』

『ほう……何か、あやまちでも仕出かしたかな、それとも……』

『おもひもうけぬ變事で、たうとう夏川氏と相別れましてござります』

『うむ』

『太夫、これみな拙者の輕率のいたすところ、面目ございませぬ。何とぞ充分に御叱責をねがひます』

武七郎は、頭をさげた。

『どうもわからぬ。その變事の顛末を、詳に語つてきかしてくれるがよい』

『實は……』

といつて、武七郎は、高島濱に入るフランス軍艦アレキサンテル號との交渉から、大變事の始終を巨細に物語つた。そして最後に

『夏川氏は、きつと、あの黒船の捕虜となつてゐるものと確信つかまつります。故に拙者、その黒船のあとを追ひ、これまでまゐりましたところ……』

『おう、この松前濱まで追ふて参つたところ、すでに退帆したあとだつたと、そこもとは口惜しがるのか……うむ……磯貝氏、この勘解由も、そこもとに劣らぬ輕率だつたわい』

『え、何と仰せらるゝ？』

『その、黒船を追ひやつたのが、實は、この白髪爺の猿智慧だつた。』

『[illegible]……』

勘解由[illegible]頭をやたらに振つた。

范家屯區公示第十一號

范家屯區ニ於ケル地方委員會委員及豫備委員ノ選擧場、投票ノ日時並ニ選擧スヘキ委員及豫備委員ノ數左ノ通

昭和八年九月二十五日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章

記

區名	選擧場	投票ノ日時	選擧スヘキ員數 地方委員會委員	豫備委員
范家屯區	新京地方事務所范家屯派出所	一〇月三日 自午前一〇時 至午後二時	六人	三人

譯文

范家屯區公示第十一號

於范家屯區地方委員會委員及豫備委員總選擧之總選擧場投票日時並當選擧委員及預備委員の數開列于左

昭和八年九月二十五日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章

記

區名	選擧場	投票日時	當選擧員數 地方委員會委員	預備委員
范家屯區	新京地方事務所范家屯派出所	十月三日 自午前十時 至午後二時	六名	三名